



プレスリリース
2005年12月8日

リバティ・アライアンス、リバティ Web サービスの最新バージョン 「ピープル・サービス」を発表

新登場の ID-WSF 2.0 は連携ネットワークでソーシャル・アプリケーション
を管理するオープンなフレームワーク機能を提供

世界から 150 以上の企業・団体が参加するアイデンティティ管理と連携サービス技術の標準化団体リバティ・アライアンス・プロジェクト(Liberty Alliance Project)は 12 月 5 日(米国時間)、アイデンティティベース Web サービス向けのオープンなフレームワークである ID-WSF 2.0 の最新バージョンをリリースしたことを発表しました。本リリースでリバティ・アライアンスの Web サービスは、SAML 2.0 や WS-Addressing などのオープンな規格のサポートと、各種のソーシャル・アプリケーションを個人や企業ユーザーが管理できる新しいソーシャルネットワーク・レイヤーを追加しました。リバティは ID-WSF 2.0 フレームワークのアップデートを 3 回実施する予定ですが、今回リリースしたものはその 2 番目にあたります。

Liberty ID-WSF People Service(以下、ピープル・サービス)は、今回のリリースの主要コンポーネントで、オープンな連携ネットワーク環境下でソーシャル情報を管理する業界初の総合的なプラットフォームです。ピープル・サービスは、個人と企業のユーザーが、ブックマーク、ブログ、カレンダー、写真共有、インスタント・メッセージングなどのソーシャル・アプリケーションを ID-WSF 2.0 フレームワークの共通レイヤーから管理できるようにします。ピープル・サービスは、ユーザー間のオンラインの関係を個人が簡単に保存し、維持し、分類できるようにすることで、他の Web サービス・アプリケーションが、連携ソーシャルネットワークにおいて、ユーザーの承諾とプライバシー保護のもとにそれらの情報を活用できるようにするものです。

ピープル・サービスによって、ユーザーは友達、同僚、家族との関係を 1 ヶ所で管理し、ソーシャル・レイヤー上に構築された各種アプリケーションはこうした関係を利用できるようになります。あるサイトに招待されたユーザーは、連携ソーシャルネットワーク内では、各アプリケーションでそのつど新規アカウントを作成しなくても、簡単にその情報を共有できるようになります。これによってプライバシーポリシーがよりシステムティックに適用されるようになるため、またネットワーク内でアイデンティティデータが複製されることが少なくなるため、情報共有が容易になり、かつオンライン詐欺対策が強固になります。

Nokia の Web サービス・ディレクターで、リバティ・アライアンスのバイスプレジデントを務めるティモ・スキッタ(Timo Skytta)は「リバティ・アライアンスのピープル・サービスにより、個人と企業ユー

ザーは、プライバシーコントロールがシステムに組み込まれた状態で、連携ネットワークアプローチを使用して、オンラインでのユーザー間の関係をすべて集中的に管理することができます。ピープル・サービスによりユーザーは、リバティ・アライアンスの Web サービスのプライバシー機能を活用して、アプリケーション、プラットフォーム、そしてサービス・プロバイダー間で、ソーシャル情報や企業情報をより簡単に、そしてより安全に共有できるようになっています」と述べています。

リバティ・アライアンスのピープル・サービスは、リバティが策定する他の位置情報、コンタクトブック、プレゼンスといった Web サービスの各種アプリケーションを強化する基盤となります。これらのアプリケーションの機能性は、複数のユーザーが関与する場面で、ピープル・サービスが提供するオープンなフレームワークを通じてユーザーやアプリケーションが簡単に関係付けられる際に最大の効果を発揮します。このフレームワークを提供することで、ピープル・サービスは、連携ソーシャルネットワークにリンクしたすべての Web サービス・アプリケーションの機能性を増大させることができます。

ピープル・サービスに加えて、ID-WSF 2.0 では次のような機能が強化されました。

SAML 2.0 - SAML 2.0 は以前のバージョンに比べ洗練されたアサーションモデルを提供します。ID-WSF 2.0 はこうした機能強化を活かして SAML 2.0 のアサーションをセキュリティトークンとして使用できるようにします。

WS-Addressing - WS-Addressing を包含することで、ID-WSF 2.0 は非同期のメッセージング機能を持つことになり、組織間の境界を越えて、データをより簡単に、セキュアに移動させることができるようになりました。WS-Addressing は、Web サービスのトランザクションにおいて様々な関係者を識別する互換性のあるアプローチを定めるものです。

登録と通知 (Subscription & Notification) - この新機能は属性共有用のプッシュモデルを実装します。この機能により、個々のユーザーが定める様々なイベントに応じて新しいデータ値がユーザーに自動的に通知されます。これは特にプレゼンス情報や位置情報などを提供するサービスに役に立ちます。

アイデンティティトークン - アイデンティティトークンは、ネットワーク内のユーザーを参照するための構造的なメカニズムを、そのユーザーのアイデンティティ・サービスにアクセスするために必要な属性情報とともに、提供します。

今回発表された機能強化は、市場のニーズを把握し、リバティ・アライアンスの Web サービスの機能性の定期的な向上を図るロードマップの実現に向けた重要なステップです。リバティは ID-WSF の最初のバージョンを 2003 年にリリースしました。そして SAML 2.0 に対応した ID-WSF 2.0 の初版は 2005 年 2 月にリリースされました。ID-WSF 2.0 の最終バージョンは 2006 年上半期にリリース予定です。

Ericsson のシニア・システム・マネジャーで、リバティ・アライアンスのテクノロジー・エキスパート・グループの共同議長を務めるキャロリーナ・カナレス・バレンズエラ (Carolina Canales-Valenzuela) は、「リバティ・アライアンスの Web サービスの最新バージョンによって、企業と個人

は、連携ソーシャルネットワークにおける関係を簡単に管理できるようになります。ID-WSF 2.0 に
ピープル・サービスを追加することで、オープンで、管理が容易で、広く展開することが可能な、
柔軟なフレームワークに基づき、企業・団体は各種のソーシャル Web サービスを新たに提供す
ることができます」と語っています。

ピープル・サービス仕様の案（ドラフト版）は
<https://www.projectliberty.org/resources/specifications.php#box2> からダウンロード可能です。
これはリバティの会員以外も利用することができるとともに、リバティ・アライアンスでは利用者から
の意見を歓迎しています。リバティはまた、今回のニュースをサポートする白書も発表しました。こ
の、リバティのテクノロジー・エキスパート・グループの共同議長であるポール・マドセン (Paul
Madsen) による『リバティ ID-WSF ピープル・サービス - 連携ソーシャル・アイデンティティ』は
http://www.projectliberty.org/resources/whitepapers/Liberty_Federated_Social_Identity.pdf
からダウンロードできます。

リバティ・アライアンスは、他のオープン規格の標準化団体がまとめた仕様を自らの仕様に定期的
に取り込み、既存のオープンな業界規格を活用し、それに価値を付加しています。今回リリー
スされた ID-WSF 2.0 は、OASIS の WS-Security とその SAML 2.0 向けプロファイル、ならびに
WS-Addressing の最新バージョンを取り入れ、組み込んでいます。ピープル・サービス内で管理
されるアイデンティティは、SAML 2.0 ベースのシングルサインオン (SSO) と、リバティ ID-WSF ベ
ースのアイデンティティ・サービスのトランザクションとにおいて互換性を持ちます。

リバティ・アライアンス・プロジェクトについて

リバティ・アライアンス・プロジェクト(www.projectliberty.org)は、世界中から 150 以上の企業・団
体が参加している非営利・非政府の組織です。コンソーシアムの目的は、既存および新規のあら
ゆるネットワークデバイスをサポートする連携ネットワークアイデンティティのオープンスタンダード
とその管理適用のためのビジネス、ポリシーおよびプライバシーに関するガイドラインを開発する
ことです。連携アイデンティティは、企業、政府機関、従業員、および一般の消費者に今日のデ
ジタル社会におけるアイデンティティ情報をコントロールするより便利で安全な方法を提供すると
ともに、ウェブベースのサービスは言うまでもなく、電子商取引、個人データサービスの利用を促
進する重要な要素です。リバティ・アライアンスの仕様は、American Express、AOL、BIPAC、
Ericsson、General Motors、France Telecom、Nokia、NTT、Sun Microsystems といった世界の
企業・団体によって展開されています。メンバーシップはすべての営利団体および非営利団
体に開かれています。リバティ・アライアンスの会員企業のリスト参照、あるいは入会ご希望の方はリ
バティのウェブサイト www.projectliberty.org をご覧下さい。

本文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へお願い致します

■ 株式会社 井之上パブリックリレーションズ

リバティ・アライアンス 広報担当 鈴木／リットウイン／平出

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 新宿御苑前アネックスビル6F

TEL:03-5269-2301/FAX:03-5269-2305

E-mail : liberty@inoue-pr.com